

# がかり 町政を問う

## 代表質問

代表質問は、町長の施政方針演述・教育長の教育行政方針演述の内容について問うもので、今回は4交渉会派が代表質問を行い、活発な議論が展開されました。  
(本町では、3名以上で構成される会派を交渉会派としています。)

- 町民の会 高橋安子議員 ..... P9
  - ①令和8年度施政方針について
  - ②令和8年度教育行政方針について
- 新誠会 山本好章議員 ..... P10
  - ①令和8年度町長施政方針について
  - ②令和8年度教育行政方針について
- 矢巾未来の会 齊藤勝浩議員 ..... P11
  - ①令和8年度行政運営について
  - ②令和8年度教育行政方針について
- 不來方 横澤駿一議員 ..... P12
  - ①令和8年度施政・教育行政方針について

## 一般質問

一般質問は、議員が執行機関に対して、町政全般にわたる執行状況や将来に対する方針などの諸問題について質問を行い、町の姿勢を明らかにするものです。3月会議では議員9人による一般質問が行われ、活発な議論が展開されました。

- 村松信一議員 ..... P13
  - ①継続的かつ計画的に推進する施策について
  - ②未来創造宣言に基づく取り組みについて
- 小笠原佳子議員 ..... P14
  - ①感染症対策について
  - ②主権者教育と平和教育について
  - ③情報リテラシーについて
- 藤原信悦議員 ..... P15
  - ①未整備となっている北上川堤防の早期着工を
  - ②デジタル技術や専用アプリを活用した道路管理や農地集約を
  - ③地区計画による企業誘致について
- 高橋敬太議員 ..... P16
  - ①多様なひとが関わり合うまちづくりは
  - ②多様なひとが関わり合う産業振興は
  - ③多様なひとが関わり合う教育は
- 赤丸秀雄議員 ..... P17
  - ①奨学金制度充実の取り組みについて
  - ②西部地域の観光も含めた更なる活性化について
  - ③中学校体育館2校への空調設備設置について
- 水本淳一議員 ..... P18
  - ①農地の集積・集約について
  - ②公有地などの保全について
  - ③歴史遺産の継承について
- 小川文子議員 ..... P19
  - ①南昌みらい高校新体育館の共創プロジェクトについて
  - ②子どもの医療費助成一部負担を無くし、全額無償化を
- ササキマサヒロ議員 ..... P20
  - ①次世代農業の選択肢拡大に向けた産業用大麻の可能性について
  - ②南昌山水辺の里の戦略的再構築による交流人口・関係人口創出について
- 昆秀一議員 ..... P21
  - ①町民の幸福をどうはかり、どう高めるのか
  - ②地域コミュニティの現状と、持続可能な支え合いの構築を
  - ③特別に支援の必要な子どもへの支援体制は

通告書は矢巾町議会ホームページに掲載しています。

代表質問通告書



一般質問通告書



掲載の質疑内容は、質問した議員の原稿によるものです。

# コミュニティ活動の支援は 地域の取り組みをサポート



たかはし やすこ  
**高橋 安子 議員**  
(町民の会)

動画は  
こちら



**質問** 集落支援員制度の活用による地域コミュニティに対する支援とは。

**町長** 令和7年11月からコミュニティ支援員を1名任用。

地域課題の把握、活性化の促進などを目的に「地域みらいづくり会議」の運営補助や「ふるさと住民登録制度」を見据えた関係人口創出関連業務を担っている。今後「地域みらいづくり計画」に沿った具体的な取り組みもサポート。

## 矢幅駅東口の 整備活用は

貸しスペース継続  
引き続き活用検討

**質問** 令和8年4月に、岩手医大附属内丸メデイカルセン

ターの機能移転に伴い、交流人口はますます増加する。駅はまちの玄関で、さらなる観光情報発信が必要と思うが。

**町長** SNSなどを活用し、地域情報発信ステーションでのきめ細やかな対応に努める。

**質問** 以前ハバタックとして利用していた場所の活用は。

**町長** チャレンジショップや展示会会場としての利用を検討。現在は貸しスペースとして運用中で、利用申請がない



地域みらいづくり会議で作成した  
地区ごとの未来へのパスポート

## 矢巾斎苑の 構想検討は

前期総合計画で  
基本構想を策定

**質問** 矢巾斎苑のあり方の基本構想は令和9年度までに策定するとしているが、設置場所の検討は。

日は、高校生などの学習スペースとして試験的に解放。

**町長** 斎苑誘致にかかる陳情内容も踏まえ、施設規模などを整理。選定委員会を開催し基本構想の策定を進める。

## 町独自の 教職員研修とは

全教員を対象に  
認識の徹底を

**質問** 教職員のコンプライアンス遵守徹底を図るための町独自の研修内容とは。

**教育長** 夏季休業期間中にコンプライアンス研修の機会を設け、法規保持と服務規律の徹底を図る。

**質問** 学校・家庭・地域連携の推進に向けたコミュニティスクールの現在の進捗状況は。

**教育長** 現在、合同地区別研修会を開催し「学校と地域が協働すること」をテーマに熟議を実施。

令和8年度からは、中学校区ごとにコーディネート者を配置し、体制の充実を図る。

# 未来を見据えた町の具体像は 持続可能性を確保する



やまもと よしあき  
**山本 好章 議員**  
(新誠会)

動画は  
こちら ▶



代表質問 町政を問う

を設置し、公共施設カルテなどの資料を基に検討を進める。

## 学校再編に 地域意見を反映

## 素案作成後に 意見聴取する

**質問** 学校再編では安心安全な通学と9年間の義務教育を踏まえ検討し、令和8年度中

に再編整備計画の素案作成としているが、学校・保護者・地域の意見をどう集め、合意形成を進めるのか。

また、作業スケジュールは。

**教育長** 教育委員会では現在、人口推計や先行事例を基に素案作成を進めている。

素案作成後、学校関係者や保護者、地域の意見を聴取り、令和9年度に計画策定を行いたいと考えている。

**質問** 学校プールの整備は、酷暑の対応も含めて計画を立てているのか。

**教育長** 学校施設長寿命化計画に基づき、必要に応じて小破修繕を適切に行いながら、継続使用する方針。酷暑対策は、熱中症のリスク低減対策に努め、児童生徒の健康や安全を最優先に考え対応する。

## 給食費無償化 今後の検討は

## 給食費据え置きで 負担軽減を図る

**質問** 国は小学校の給食費無償化を令和8年度から開始する見込みだが、これをさらに発展させた保護者の実質的な負担軽減は今後検討するか。

**教育長** 小学校給食費は国が8年度から無償化予定。

町の第3子以降無償化は中学生を対象に継続する。食材価格は高騰しているが、8年度は給食費を据え置き、保護者の実質負担軽減を図る。

**質問** 公共施設の数・規模などを抜本的に検討する公共施設維持検討の会議体を設置するとあるが、具体的な検討の進め方は。

**町長** これまでの拡大前提のまちづくりから持続可能性を重視した選択と集中への転換が必要である。

**町長** 学校施設を含めた公共施設は、更新・統合・廃止などのあり方を検討する会議体

を設置し、公共施設カルテなどの資料を基に検討を進める。



公共施設の数・規模などを抜本的に検討



さいとう かつひろ  
齊藤 勝浩 議員  
(矢巾未来の会)

動画は  
こちら



# 施政方針の「賢く縮む」とは 人口減少を前提とした運営を模索

**質問** 施政方針では、社会情勢の変化を鑑みた公共施設のあり方を検討すると述べられたが、インフラ整備の動向も含めた具体策は。

**町長** 公共施設やインフラの多くが更新時期を迎える今、将来世代に負担を残さず、地域の暮らしの質を守る必要がある。スマートシユリンクの理念に基づく安全性を確保する取り組みを進める。

**質問** 複合的見地から、高齢者の居場所、健康増進、子育て対策の機能を併せ持ち、交流人口増も期待できる、天候に左右されない複合施設の整備に取り組むときは。

**町長** 喫緊の課題と認識。他自治体の事例検証を行い、各課連携を図り、将来を見据え



令和7年に設置された「警報よびかけ塔」

た必要な施策を進める。

**質問** 大きな伸びしろがある本町の地域産業の活性化策は。

**町長** 情報収集に努め、誘致可能な用地の掘り起こしを行う。盛岡南道路の接続道路沿

いは、本町の物流の良さを生かした製造業や商業施設の集積を目指していく。

**質問** 河川の防災対策で、岩

崎川沿いに警報呼びかけ塔が建設された。設置数と用途は。

**町長** 煙山ダムからの放流に伴う安全確保の周知を行うため、岩崎川流域に4基設置。

**質問** 岩手医大附属病院の機能集中により、往来者の更なる増加が見込まれる中、早期に危険箇所洗い出しと交通安全の啓蒙活動が必要では。

**町長** 昨年から南昌みらい高

校前の横断歩道においても歩行者優先の呼びかけを実施。更なる危険箇所の把握を行い、町交通安全対策協議会で協議し、改善要望を強く行う。

**質問** 持続可能な財政運営のために、町の資源を再評価し、雇用創出、経済効果を上げる仕組みづくりが必要では。

**町長** リサイクル循環の仕組みづくりも含め、魅力あるふるさと納税返礼品開発につながる情報を収集していく。

## 部活動 地域展開の進捗

維持可能な  
活動体制を目指す

**質問** 中学校の部活動地域展開は、早期に骨子をまとめる必要がある。進捗状況は。

**教育長** 本町ではまず休日の地域展開から着手し、将来的に平日も含めた展開を目指す。活動の継続性と質の確保を図り、維持可能な体制づくりに取り組んでいく。

# 人口減少時代のまちづくり

## 透明性ある政策決定へ



よこさわ しゅんいち  
横澤 駿一 議員  
(不来方)

動画は  
こちら



### 起業創業の 拠点整備は

**質問** 人口減少を前提とした「スマートシユリンク」の考えが示された。人口減少は本町だけでなく全国的課題である。今は議論だけでなく「決める」「動かす」を町民に見える形で示す段階にきている。政策決定の基準や期限、町民参加の仕組みなどをルール化し、示す考えはあるか。

**町長** 政策決定には関係者の範囲や財政状況など総合的な判断が必要である。意思決定の過程を町民に示すことは重要であり、ワークショップや広報などを通じて情報発信を行い、透明性の高い行政運営を目指していく。

### 支援整備を進め、 施策の連携を検討

**質問** 起業創業支援制度や相談体制は整いつつあるが、実行段階での課題は事務所や店舗など「場所」の確保である。町外で起業する例もあるチャレンジショップやコワーキングを備えた産業拠点整備の考えを伺う。

**町長** 創業支援補助や相談体制を整えているところで、産

### 農業で稼ぐ 仕組みづくりを

業拠点については、現在の施策との連携を整理しながら必要な機能の確保について検討を進めていく。

**質問** 農業は地域を支える基盤であり、次世代へつなぐ重

### 農地集約と 販路強化を推進

要な産業である。ドローンなどの機器導入だけでなく、担い手育成や農地の集約、販路確保まで含めた「稼いで守る農業」をどう構築するのか。

**町長** 農地集約専用アプリの導入など効率化を進めるとともに、関係機関と連携した販路開拓などを進め、農業所得の向上につながる施策を推進していく。

### 産後ケア充実を

ベビードダンス教室で身体回復を支援

**質問** 産後ケアでは休息や育児支援に加え、身体の回復が心の健康にもつながる。腰痛や骨盤の不調など言いづらい悩みも多い。理学療法士などの専門職と連携した支援を取り入れる考えは。

**町長** 現在は休息や育児支援を中心とした産後ケアを実施している。理学療法士などの活用は、先進事例調査やニーズ把握を行いながら仕組みづくりを検討していく。



明るい未来は子どもたちから

# 立地適正化計画とは

## 都市機能を中心地に集約



むらまつ のぶかつ  
**村松 信一 議員**  
(矢巾未来の会)

動画は  
こちら



**質問** 町の中心地に都市機能を集約させる立地適正化計画の策定スケジュールは。

**町長** 令和7年度に課題分析などを行い、令和8年度に素案を作成予定。

パブコメや都市計画審議会  
で意見聴取し、令和8年度末  
に策定し、公表したい。

**質問** 企業誘致などの未来戦略のため、東京事務所に職員を派遣したが、成果は。

**町長** 約150社を訪問した。  
町内進出に興味がある企業  
には再度訪問するなど、綿密  
な情報共有と連携を図り、企  
業誘致に取り組んでいる。

**質問** ふるさと住民登録制度の活用により関係人口や交流人口を創出する考えは。



住民みんなで参画した地域みらいづくり会議

**町長** 制度活用により、課題  
解決や担い手確保につながる  
関係人口の創出も想定される  
ため、どう活用できるか国の  
モデル事業に応募し検討する。

**町長** 新たな付加価値を見い  
だし、町産品を活用した商品  
開発に引き続き取り組む。

**特産品開発の  
方向性見直しは**

**コミュニティの  
活性化策は**

**引き続き商品の  
開発に取り組む**

**みらいづくり計画  
に基づく活動支援**

**質問** 特産品の開発は「選別

**質問** 地域コミュニティ活性

化を図るための「地域みらいづくり会議」の成果は。

**町長** 4小学校区の地域住民  
が議論し、その声を反映した  
地域みらいづくり計画が完成  
した。計画に基づく各種活動  
や課題解決の支援に取り組む。

**質問** 地域コミュニティ強化  
として町民同士のつながりを  
深める具体策は。

**町長** 地域みらいづくり計画  
には、みんなが交流できる機  
会の創出や事業の見直しを検  
討するなど、地域主体の取り  
組みが盛り込まれており、こ  
れらの運営を支援していく。

**質問** 子どもたちが夢を持ち、  
成長できる教育環境づくりは。

**教育長** 地域の自然環境や歴  
史・伝統文化についての調べ  
学習や体験活動を推進する。

**質問** 自治会や町行政の委嘱  
役員の報酬が少なく、増額が  
必要と捉えるが、考えは。

**町長** 非常に厳しい財政状況  
のため、現状の報酬額で委嘱  
したい。

# 感染症への備えは 接種支援と予防



おがさわら よしこ  
小笠原 佳子 議員  
(公明党)

動画は  
こちら ▶



**質問** 带状疱疹ワクチン助成の効果と住民の反応、※RSウイルス母子免疫ワクチン定期接種化の準備、高齢者へのワクチン助成の考え、コロナ後の高齢者の感染症予防強化について伺う。

**町長** 带状疱疹ワクチン助成は多くの町民が利用し、接種率向上に一定の効果があったと認識している。

RSウイルス母子免疫ワクチンは、令和8年4月開始に向け、対象妊婦への案内送付や医療機関との調整を進める。高齢者向けワクチンは任意接種であり、国の動向を注視し助成のあり方を検討する。

感染症予防では手洗い・換気・咳エチケットの徹底、マスク着用など基本対策の周知を継続していく。



「事実」と「意見」を区別し、主体的に判断を

## 主権者教育と平和をどう育むか

### 学校の取り組みで体験学習を充実

**質問** 若い世代が社会や政治に関心を持ち意見を交わす力を育む主権者教育の現状は。

**教育長** 小・中学校では、社

会科や総合的な学習を通して政治の仕組みや主権者としての責任を学んでいる。

**質問** 主権者教育のアドバイザリー派遣事業活用の可能性は。

**教育長** 各学校の課題や要望などを十分に確認し、必要に応じて実施を検討する。

**質問** 被爆体験者の講演を聴

く機会の確保について伺う。

**教育長** 平和の集いでは被爆地訪問の報告や講演を行い、平和への理解を深めている。被爆体験者の講演は貴重であり、関係機関と連携しながら実施を検討していく。

## 情報リテラシー 高めるには

### 学びの強化を図る

**質問** SNS利用の低年齢化やネット上の危険を踏まえ、小・中学校でのネットリテラシー教育と、町民への啓発活動の現状と課題を伺う。

**教育長** 小・中学校では情報モラル教育を計画的に実施し、危険情報への対処や個人情報保護など、自らが適切に活用できる能力を養うことが重要と捉えている。

**町長** 町民向けには消費生活センターと連携し、詐欺防止やSNSトラブル防止の講座を開催し、相談も実施。

今後、幅広い世代に向け啓発を強化する。



ふじわら しんえつ  
藤原 信悦 議員  
(町民の会)

動画は  
こちら



# 北上川末整備堤防の早期着工を 堤防に代替する道路整備事業を推進

**質問** 土橋地区の一部では堤防が未整備であり、大きな台風がある度に水害が発生している。これまでも国や県に築堤の要望を続けてきたが、早期に解決する考えは。

**町長** これまでも国や県に対し要望してきたが、国土交通省では他の河川災害箇所との整備が優先されており、具体的な整備時期は示されていない。しかし、気候変動による豪雨河川災害が頻発・激甚化しており、その事前防災対策として、国土交通省岩手河川国道事務所や岩手県から助言をいただき、国土強靱化にかける緊急自然災害防止対策事業を活用し、堤防の役割を担う道路整備事業を行うべく、道路概略設計を進めている。設計ができれば、地域住民



途切れたままの堤防 (写真右側)

## デジタル技術を活用しては

に説明し理解を得ながら、早期完成を目指していく。

## 技術職員の不足 対応と効率化に

**質問** 令和5年冬、岩手銀行とNTTグループは、デジタル技術などを活用した自治体

の道路インフラ管理を当町と紫波町で進めた。また、今年度は盛岡市・矢巾町・紫波町で、農地集約専用アプリを使い実証実験を行った。デジタル技術の活用は、人手不足の中での業務効率化と目的達成に有効な手段と考えられるが、活用策は。

**町長** 道路管理については、パトロール実施路線軌跡のデジタル化など、技術職員など

## 地区計画による 企業誘致は

## 定期的な協議し 円滑化を図る

の人員不足に対応し、道路維持管理業務の効率化を目的に取り組んでおり、効率化が図られている。農地集約アプリは、効果が期待されることから取り組むこととした。

**質問** 岩手日野自動車株式会社に続き、3区画の誘致を進めた。1区画は説明会が開催されたが、他2区画の進展が見られない。対応状況と解決すべき課題は。

**町長** 令和7年度に2区画を、令和8年度に1区画を決定する予定である。すでに岩手県と協議を行っており、解決すべき課題はないと考える。なお、地区計画決定後は立地候補者が立地にかかる手続きを行うが、開発計画の実現性を高める必要があることから、情報共有を図る。

# 特産品の新たな取り組みは

## これまでの支援を継続する



たかはし けいた  
高橋 敬太 議員  
(不来方)

動画は  
こちら



**質問** 本町の特産品である原木しいたけやズッキーニの出荷量は年々減少している。今後どのように守っていくのか。

**町長** これまでの補助金や交付金を継続して支援する。

**質問** 同じ支援の継続で下げ止まる見込みはあるのか。

**町長** 今のままでいいわけではないが、新たな支援としてお示しできるものはない。

**質問** ※6次産業化により、付加価値を創出しては。

**町長** 挑戦する事業者に対しては支援に努める。

**質問** 特産品開発は、都市のニーズ把握や収穫体験など消費者を巻き込む設計が大切であり、町が主導して産業振興



出荷量が減少する特産品をどのように守るのか  
(写真は原木しいたけ)

おおよび雇用創出につなげては。

**町長** ふるさと納税の返礼品開発へつなげるなど調査する。

**質問** 農業においては農地の集約が大切であるが現状は。

**町長** 地域での協議の場において地域の担い手も参加しており農地交換の話も出ている。

**質問** 商工業を支えるために町内事業者のファンづくりも

大切である。仕事体験や見学など消費者との接点を増やす取り組みを強化しては。

**町長** 強化を検討したい。

**質問** 観光振興も進める必要があり、ドッグランの整備やキャンプ場設備の強化予定は。

**町長** 予定はないが検討する。

### 道徳教育充実を

### 医療や文学の資源を活用して育む

**質問** 医師による命の授業や宮沢賢治を題材にして生命の尊厳について学びを深めては。

**教育長** 専門家と保健教室を開催しており、引き続き連携を深めていく。

宮沢賢治生誕130年であり、イベント開催を検討する。

**質問** 郷土芸能の存続を願う声が多くある。部活動の地域展開と併せて強化できないか。

**教育長** これまでの流れと部活動の両面から取り組む。

**質問** 子ども会運営の負担増加や維持が困難という声がある。広域連携など解決策は。

**教育長** 小学校区単位で話し合いを行っており、テーマに取り上げるのも効果的である。

**質問** 民間とIT教育強化を。

**教育長** 将来の職業選択の上で有意義であり、民間企業の協力があればプログラム実施の可能性はある。

# 奨学金制度の更なる充実を

## 制度の在り方研究に努める



あかまる ひでお  
**赤丸 秀雄 議員**  
(新誠会)

動画は  
こちら



**質問** 町の保育士などに対する奨学金返済支援制度について、人材確保や定着および職防止の観点から、町出身者で町に住民税などを納める方への支援を拡充する考えは。

**教育長** 他自治体で若者定住施策の一環で運用していることは承知している。

本町の施策内容との整合性を図りつつ、研究したい。

### 若者の Uターン促進を

#### 制度検証が必要

**質問** 大学生などの4年間で奨学金借入平均額は323万円と言われる。一部の企業では支援制度の導入が進んでいるが、町でもUターン施策

促進のために検討する時期と  
思うがどうか。

**町長** 考えには賛同するが、若者定住に何が必要で、何を望むか、また財政状況や現行制度を検証する必要がある。

### 西部地域活性化を

#### 実態を踏まえ

#### 計画的に実施

**質問** 町の賑わいに地域差が出ていると複数の町民からの



早期の空調設備設置を待ち望む  
(写真は矢巾北中学校)

声がある。城内山や煙山ダム  
周辺の観光推進は。

また、西部地域に行くための、あるいは西部地域に居住する方の交通手段の確保をどう考えているか。

**町長** 城内山の観光整備はクマ出沒対策の電気柵設置で計画に遅れがある。ダム湖の

※サップ事業などは安全を優先し事業を継続する。ジャンパランドのイベント開催の共創や、交通手段の不便解消などにも取り組んでいきたい。

### 集落支援員の 増員を図っては

#### 状況を踏まえ対応

**質問** 集落支援員を増員し、コミュニティの活性化や伝統芸能活動の充実などを図ってはどうか。

**町長** 昨年11月から1名任用しており、状況を踏まえて適切な対応に努めたい。

### 両中学校体育館 空調設備を

#### 令和9年度を予定

**質問** 猛暑日などの児童・生徒の体育授業対応や、災害時の基幹避難場所対応のために、両中学校の体育館に空調設備を設置することであるが、その内容は。

**教育長** 国の助成制度を利用して、両中学校の体育館に空調設備を設置予定であり、設置完了時期は令和9年度の夏以降を想定している。

サップ (S U P) …スタンドアップパドルボードの略。

# 農地の集積・集約の推進は

## マッチングアプリを活用



みずもと じゅんいち  
水本 淳一 議員  
(町民の会)

動画は  
こちら ▶



**質問** 当町における農地の集積・集約の推進状況は。

**町長** 集積率は8割を超えているが集約化は不十分。

現在は地域計画の見直しに向けた協議を15地区で行っている。

**質問** マッチングアプリを利用した耕作意向調査の状況は。

**町長** 町内4地区で、農地は約4,760筆、耕作者は約520名の協力により調査を行った。マッチング結果は報告会として3月に開催。

**質問** マッチングした農地の取り扱い。

**町長** 対象者双方の意向を最終確認し、地域計画に係る調整を行い、農地中間管理事業を活用した貸借へつなげる。



伝法寺遺跡周辺図(案内板)に掲載の安倍道(アベミチ)

## 公有地の保全是

### 県に引き続き要望

**質問** 公有地の管理に対する相談や苦情への対応は。

**町長** 現地を確認し必要な場合は、町の直営などにより対応する。

**質問** 草木などの野外焼却は。

**町長** 環境などにかかる法制度により原則禁止されている。ただし、農林業などでやむを得ず焼却する場合は、消防署へ事前の届け出が必要。

**質問** 一級河川の危険箇所を改修し、草刈りの安全確保を。

**町長** 県が管理する一級河川太田川は、県で河川整備改修事業を進めている。適正な管理を継続して要望していく。

## 歴史遺産の

### 保全と発信は

#### 全遺産を重視して

**質問** 町の歴史遺産の把握状況は。

**教育長** 現在町内には、44の指定文化財がある。

「安倍道」については、大正10年の志和町道路台帳に掲載されており、重要な歴史遺産であるが、時間が経ちすぎており、現地踏査や確認が十分に進んでいない。

**質問** 市や町にまたがる歴史遺産の保全・発信に関し、近隣自治体との連携状況は。

**教育長** 城柵遺跡を有する自治体とは「城柵ネットワーク」を組み連携している。そのほかの歴史遺産の周知も、今後重視する。

**質問** 本町の歴史に関する資料請求への対応は。

**教育長** 文化スポーツ課文化財係が窓口になり対応。



おがわ ふみ こ  
**小川 文子 議員**  
(日本共産党矢巾町議団)

動画は  
こちら



# 県立高校新体育館問題の現状は 知事から損害賠償請求を受理

**質問** 2021年から県教育委員会と共創プロジェクトとして進めてきた南昌みらい高校新体育館の建設が難航し、県は生徒のために学校敷地内に体育館を建設するとした。

当初、生徒も町民も利用でき、ハンドボールの公式試合が可能で、冷暖房設備もあることから期待も大きかった。

この計画がとん挫した検証が必要である。

設計変更は2回あった。1回目は、建築基準法の日影規制で3階が2階となったために2面のコートが1面しかとれなくなった。2回目は、予算の縮減から観客席がギャラリーになったものである。ハンドボールコート1面とギャラリーを認めて覚書を締結したが、工事開始直後にゼ



体育館の建設が予定されていた町有地

の十分な明記がなく、協議し協定を締結すべきであった。

**質問** 令和6年10月中旬に担当課が未来戦略課から総務課に変更となったが、その理由を伺う。

**町長** 財産管理および契約事項を所管する総務課へ移管。事務の適正管理と責任の明確化を図るためである。

**質問** 県からの損害賠償について、今後の対応は。

**町長** 岩手県知事から、令和8年2月18日付けで新設高等学校における屋内運動場の整備などにかかる損害賠償請求についての通知を受理しており、庁内で協議し、慎重に対応する。

## 医療費支援を

### 国、県に要望する

**質問** 子どもの医療費助成は一部負担がある。自己負担をなくせないか。

**町長** 国、県に要望していく。

**質問** 庁舎内での議論は、どのように行われたか。

**町長** 岩手県教育委員会と十分に議論を重ね、覚書を締結したものと認識している。

ロベースとなり、その後、2面のコートが共創プロジェクトの第1条件と主張したが、県は受け入れられないとした。すでに協議を尽くして決定したことに疑義が生じたというのであれば、熟慮、慎重さが足りなかったのではないか。

**質問** 覚書は重要なもので、履行には責任を伴い、履行できない場合は損害賠償が発生することが一般的と考えるが、どのような認識であるか。

**町長** 覚書は協定書に準ずる重要な合意文書で、履行には責任を伴うものだが、覚書には町が必要と考える重要事項

**町長** 事業の内容については関係課と十分な議論を重ね、最終的に庁議を開催し内容を決定した。

は、ど

# 産業用途大麻の制度的整理を

## 推進する考えは全くない



ササキ マサヒコ 議員  
(不来方)

動画は  
こちら



**質問** 産業用大麻は農作物であり町政方針の持続可能な

産業用大麻の栽培にこれらの要件を備え熱意をもって取り組む方の免許取得の妨げにならないよう十分配慮しつつも、産業用大麻の栽培を推進する考えは全くない。

**町長** 農業従事者が新規に免許を取得することは非常に困難であると認識している。

産業用大麻の栽培にこれらの要件を備え熱意をもって取り組む方の免許取得の妨げにならないよう十分配慮しつつも、産業用大麻の栽培を推進する考えは全くない。

**質問** 本町は農業を基幹産業として発展してきたが、農業従事者の高齢化や担い手不足などの課題があり、令和5年の法改正により\*産業用大麻の制度的整理と産業利用が進みつつある。

農業にも関わる。法改正後に全国で初めて第一種栽培免許を取得された方々と直接つながり、全面的に協力いただけの準備ができた。

**町長** 関心はある。管理さえ徹底すればできるということであれば、まずは先進地視察を実施したい。



色々な産業につながる産業用大麻

### 水辺の里の 利活用ビジョン

### 民間のアイデアや 市場性を調査

**質問** 南昌山水辺の里の現在の位置づけとして、第8次矢巾町総合計画および交流人口拡大戦略の中で、どのように整理しているか。

**町長** 第8次矢巾町総合計画では、西部地域の観光活性化を継続するとしており、水辺の里は被災以前のよう自然の豊かなスポットとして活用することを視野に、令和6年度は不適切に堆積された土砂を撤去した。

**質問** 将来的な利活用ビジョンは策定されているのか。

**町長** 現時点では策定していない。

**質問** 交流人口・関係人口拡大の観点から、オートキャンプ場や野外イベント空間としての活用の可能性を検討する考えはあるか。

**町長** 多角的な観点からさまざまな検討する。

**質問** 官民連携や公募型プログラム方式導入の可能性はあるか。

**町長** 公共施設や町有地の活用を検討する初期段階で、民間事業者と直接対話し、アイデアや市場性を調査する。

産業用大麻…幻覚作用のある成分の含有量が極めて低い、あるいは含まない大麻草のことで、多岐に渡る工業製品などの原材料として活用されるサステナブルな資源。



こん 昆 議員 (新誠会)

動画は  
こちら



# 町民の幸福をどう政策に生かすか 人とのつながりなど、まちづくりで

**質問** GDPだけでははかれない豊かさやウェルビーイングが重視される中、幸福をどう定義し、政策に生かすのか。

**町長** 第8次総合計画で「幸福感の向上」を掲げ、心身の健康や安心して暮らせる環境、人とのつながりを含めたまちづくりを進めている。

**質問** 町民が実感する幸福度の把握調査や指標導入の考え、子ども・若者の幸福度を高める施策、高齢者や障がいのある方が安心して暮らせる支援など、行政全体を幸福の視点で点検する体制づくりを問う。

**町長** 幸福度調査は行っていないが、総合計画策定時のアンケートなどで満足度を把握しており、指標導入は今後検討する。



幸福度の向上につながる県の取り組み (県ホームページより)

子ども・若者の意見は未来創造会議などに反映し、高齢者や障がいのある方には見守りや配食サービスなどの地域の支え合いを通じて安心感の向上を図る。

## コミュニティの位置づけは

### 住民同士助け合う重要な基盤

**質問** 自治会の担い手不足や役員の高齢化が進む中、地域コミュニティをどう位置付けているのか。

**町長** 地域コミュニティは、住民同士が助け合う存在で重要な基盤と位置付けている。

**質問** 負担軽減や支援策の見直し、NPOなどの目的型コミュニティの支援、要配慮者の見守り体制など、今後の担い手育成や体制整備を問う。

**町長** 役員の高齢化や担い手

不足は把握しており、補助制度の統廃合や書類削減などで負担軽減を進めている。

目的型コミュニティについても広報や活動場所の確保などを通じて支援する。

また、要支援者名簿の共有や研修で、地域と行政が連携し見守り体制の強化を図る。

## 特別な支援の体制整備は 関係機関での連携を図り支援

**質問** 不登校や発達特性、家庭環境など多様な課題を抱える子どもの支援として、教育と福祉の連携、居場所づくりや学びの選択肢、早期支援、家庭への対応など、包括的支援体制の構築を問う。

**町長** 関係機関での連携を図っており、きめ細かな対応により、心の安定を重視した支援を行っている。

今後も、伴走型の支援を継続していく。